



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部副部長 (氏名) 田之畑 武 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,756	△13.3	500	△25.3	602	△16.2	385	△8.9
30年3月期第3四半期	11,258	4.5	670	6.3	719	1.3	422	16.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 341百万円(△29.0%) 30年3月期第3四半期 480百万円(22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	83.46	—
30年3月期第3四半期	89.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,374	6,224	43.3
30年3月期	11,946	6,153	51.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 6,224百万円 30年3月期 6,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,808	△12.9	326	△10.7	425	3.8	270	104.6	58.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,746,000株	30年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	240,889株	30年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	4,615,656株	30年3月期3Q	4,705,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部地域において、夏場に相次いだ自然災害の影響がみられましたが、全体として企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復傾向を維持しています。しかしながら、消費者マインドは力強さを欠いた状況が続き、また、将来の家計負担増等の不安から、節約・低価格志向は根強いこともあり、企業間における価格競争が一層増すなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」に取り組みを推し進めるなか、食品事業及び水産事業の商品に対する信頼性向上やグローバル化した社会で通用する食品安全規格「ISO22000」認証取得に向けた取り組みを開始しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高97億56百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益5億円（前年同期比25.3%減）、経常利益6億2百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億85百万円（前年同期比8.9%減）と減収減益になりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

①水産事業

水産事業における養魚用配合飼料の販売におきましては、エビ飼料類は、天候不順や養殖池の老朽化等の影響から生産不調の煽りを受けるなどして販売が伸びず前年同期を下回りました。また、魚飼料類のヒラメ飼料類及びトラフグ飼料類は、既存客先のシェアアップにより前年同期を上回りましたが、ハマチ飼料類及びマダイ飼料類は、受託生産販売の大幅な落ち込みがあり前年同期を大きく下回りました。なお、受託製品の販売数量は大きく落ち込みましたが、比較的利益率が高い自社製品の販売数量は前年同期を若干上回りました。

子会社におきましては、マリンテック株式会社（水産用飼料製造販売及び魚介類種苗生産販売）は前年同期を下回りましたが、永屋水産株式会社（生鮮魚類の卸売販売）及び奄美クルマエビ株式会社（エビの養殖生産販売）は順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は61億34百万円（前年同期比19.5%減）、セグメント利益は5億79百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、即席めん類は、海外販売の展開が足踏み状態で伸びず、皿うどん類は、一部商品が終売となったことや特売企画販売が減少したことなどから前年同期を下回りました。また、そうめん類は、前年同期並みに推移しましたが、うどん類及びそば類は、前年同期を下回るなど、近年乾麺類は、食の多様化や少子高齢化等により乾麺離れが進む傾向にあり厳しい環境が続いております。一方、棒状ラーメンは、顧客ブランドの受託生産（OEM生産）が順調に推移し、カップ商品（体にやさしい五穀スープ、カップ皿うどん）は、新規取り扱い店も増加したことなどから前年同期を上回りました。

子会社におきましては、コスモ食品株式会社（カレールー・調味料等の製造販売）及び株式会社向井珍味堂（穀粉・香辛料等の製造販売）は前年同期を下回りましたが、なかしま株式会社（冷凍食品の製造販売）は順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は36億22百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は3億円（前年同期比3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ24億27百万円増加し143億74百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億91百万円増加したことや季節的要因により受取手形及び売掛金が11億55百万円増加、たな卸資産が5億74百万円増加となったほか、生産設備等の増強により有形固定資産が3億2百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ23億56百万円増加し81億49百万円となりました。これは、主として買掛金が2億99百万円増加、短期借入金が12億90百万円増加、長期借入金が7億66百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ70百万円増加し62億24百万円となりました。これは、主として利益剰余金が3億42百万円増加した一方、資本効率向上のため、自己株式2億28百万円を取得したことなどによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年11月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,069,104	2,560,246
受取手形及び売掛金	1,646,410	2,801,612
商品及び製品	497,193	558,967
仕掛品	137,370	566,473
原材料及び貯蔵品	994,621	1,078,485
その他	175,648	156,258
貸倒引当金	△11,718	△13,289
流動資産合計	5,508,628	7,708,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,549,465	1,607,527
機械装置及び運搬具(純額)	718,517	857,239
土地	2,126,315	2,127,540
その他(純額)	161,346	265,991
有形固定資産合計	4,555,644	4,858,299
無形固定資産		
のれん	413,362	359,481
その他	52,226	41,063
無形固定資産合計	465,588	400,544
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,457,244	1,446,951
貸倒引当金	△40,505	△40,505
投資その他の資産合計	1,416,739	1,406,445
固定資産合計	6,437,972	6,665,290
資産合計	11,946,601	14,374,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	700,420	1,000,057
短期借入金	1,924,517	3,215,042
未払法人税等	86,047	93,519
賞与引当金	155,721	79,865
その他	469,549	455,732
流動負債合計	3,336,255	4,844,215
固定負債		
長期借入金	1,678,194	2,445,069
役員退職慰労引当金	474,444	492,315
退職給付に係る負債	85,994	92,994
その他	217,829	274,691
固定負債合計	2,456,462	3,305,070
負債合計	5,792,718	8,149,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,987,383	5,330,244
自己株式	△28,968	△256,968
株主資本合計	6,020,714	6,135,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,760	89,026
その他の包括利益累計額合計	118,760	89,026
非支配株主持分	14,407	155
純資産合計	6,153,882	6,224,758
負債純資産合計	11,946,601	14,374,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	11,258,561	9,756,475
売上原価	8,837,935	7,480,914
売上総利益	2,420,626	2,275,560
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	362,649	385,569
貸倒引当金繰入額	1,172	1,570
給料及び賞与	447,925	449,908
賞与引当金繰入額	30,384	31,919
退職給付費用	15,130	21,544
役員退職慰労引当金繰入額	18,795	17,871
その他	874,229	866,208
販売費及び一般管理費合計	1,750,287	1,774,591
営業利益	670,338	500,969
営業外収益		
受取利息	1,940	3,466
受取配当金	6,961	7,627
為替差益	68	9,881
受取保険金	1,896	41,707
雑収入	53,335	56,385
営業外収益合計	64,202	119,067
営業外費用		
支払利息	13,520	13,126
雑損失	1,633	3,967
営業外費用合計	15,153	17,093
経常利益	719,387	602,942
特別利益		
投資有価証券売却益	9,345	—
特別利益合計	9,345	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	6,988
特別損失合計	—	6,988
税金等調整前四半期純利益	728,732	595,954
法人税、住民税及び事業税	256,680	174,157
法人税等調整額	49,497	50,841
法人税等合計	306,178	224,999
四半期純利益	422,554	370,955
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△213	△14,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	422,767	385,207

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	422,554	370,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,856	△29,733
その他の包括利益合計	57,856	△29,733
四半期包括利益	480,411	341,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,624	355,473
非支配株主に係る四半期包括利益	△213	△14,251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,622,169	3,636,392	11,258,561	—	11,258,561
セグメント利益	678,680	289,252	967,932	△248,545	719,387

(注) 1 セグメント利益の調整額△248,545千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費250,353千円、営業外収益12,004千円、営業外費用10,196千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,134,114	3,622,361	9,756,475	—	9,756,475
セグメント利益	579,710	300,231	879,941	△276,999	602,942

(注) 1 セグメント利益の調整額△276,999千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費287,318千円、営業外収益19,985千円、営業外費用9,665千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。